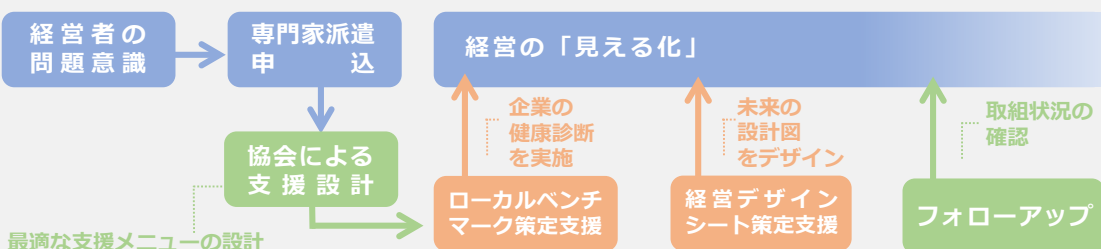




経営の「見える化」が、新事業の道筋を描く



支援担当者の声

今回の支援では、鉄筋加工業への進出という大きな転換期を迎えた事業者に対し、いきなり課題解決策を提案するのではなく、まずはローカルベンチマークを活用して現状を整理することから始めました。

ローカルベンチマークを作成する際に意識したことは、支援者が答えを示すことではなく、経営者の頭の中にある思いや考えを引き出し、客観的に整理することです。そのためには、経営者に安心して考えを話していただける関係づくりも大切になります。

対話を重ねる中で、自社の強みや課題が少しずつ言語化され、会社の現在地が見えてきました。そこから自然と、「今後どのような会社を目指すのか」「新事業をどのように育てていくのか」という将来像の整理にもつながり、経営デザインシートの策定へと進んでいきました。

漠然とした悩みはあるものの、誰に相談すればよいか分からない経営者の方も少なくないと思います。自社の現状や将来像を一度「見える化」することは、次の一歩を考えるきっかけとなります。本協会では、これからも対話を大切にしながら、事業者の皆さまに寄り添った伴走支援に取り組んでいきます。

経営者の問題意識

当社は、鉄筋取付工事を主業として事業を展開してきた。さらなる成長を目指し、事業再構築補助金を活用して鉄筋加工業に進出。鉄筋加工から施工までを自社で一貫して担うことで、収益力の向上と事業領域の拡大を目指していた。

一方で、新事業の立ち上げには試行錯誤が多く、設備投資、人員配置、生産管理、材料管理など、整理すべき事項が増えていた。また、既存事業と新事業をどのように結び付け、今後どこを目指していくのかについて、経営者自身も頭の中を整理したいという思いを抱えていた。「自社の強みは何か」「今後、何から取り組むべきか」を明確にすることが、次の一歩を踏み出すための課題になっていた。

保証協会による支援設計

当初は、鉄筋加工業に関する個別課題について、専門家派遣による助言を行うことも想定された。しかし、経営者へのヒアリングを行う中で、いきなり個別課題の解決に入るのではなく、まずは新事業を含めた会社全体の現状を整理することが必要ではないかとの認識に至った。

そこで本協会からは、ローカルベンチマークを活用して、事業内容、商流、強み、課題を財務面・非財務面から整理する支援を提案した。その過程で会社の現在地が見えてくると、将来像や加工事業の方向性を整理する必要性も明確となったため、経営デザインシートを活用し、今後の方向性と具体的な取組を整理することとなった。

支援者によるサポート

- ◆ ローカルベンチマークとは…
企業の経営状態の把握、いわゆる「企業の健康診断」を行うツール
- ◆ 経営デザインシートとは…
「現在から未来」を逆算し、新たな価値を生み出す戦略を1枚に描く「将来の価値創造デザイン」を行うツール



ローカルベンチマーク策定支援

ローカルベンチマークを活用し、経営者との対話を通じて、事業内容や商流、会社の強み、課題等の整理を行った。経営者が頭の中で感覚的に把握していた自社の特徴の一つひとつ言語化することで、自社の現在地を客観的に確認する機会となった。

強み	課題
⑤ 鉄筋加工から施工までを一貫して対応できる体制 ⑤ 現場経験に基づく技術力・施工品質 ⑤ 資格保有者を含む人材力 ⑤ 経営者の営業力・行動力	⑤ 加工事業における生産管理体制の整備 ⑤ 材料費・工程管理の強化 ⑤ 部門間の情報共有 ⑤ 若手人材の育成

経営デザインシート策定支援

ローカルベンチマークで現状を整理する中で、経営者には「工事業から製造業へ軸足を移し、加工事業を新たな柱に育てたい」という明確なビジョンがあることが確認された。

そこで、その思いをより具体的に形に落とし込むため、経営デザインシートを活用した。支援では、加工から施工までを一貫して担う体制をどう強化するか、加工事業をどのように伸ばしていくかを整理した。あわせて、受注拡大、工場稼働率の向上、人材育成、5Sの徹底、情報発信の強化など、目指す姿の実現に向けて今後取り組むべき事項を確認した。

支援後の経過

支援後、当社では、ローカルベンチマークや経営デザインシートを、営業活動前の確認や、社内共有の資料として活用している。

支援を通じて、自社の強みや課題、今後取り組むべきことが整理され、経営判断の参考となる「共通言語」が生まれた。

作成した資料は会社の現在地と目指す姿を確認するための道しるべとして、その後の取組に活かされている。

経営者の声

これまで受けてきたコンサル等による支援では、数字の管理に役立つものもありましたが、自社の強みや将来像を言葉や図で整理する機会はありませんでした。

ローカルベンチマークを作成したことで、自社がなぜ選ばれてきたのか、どこに強みがあるのかを改めて確認することができました。頭の中で考えてきたことが整理され、何から取り組めばよいかを考えやすくなったことは大きな収穫でした。また、経営デザインシートでは、会社の将来像や今後取り組むべきことを具体的に考えることができました。社内で方向性を共有する際にも役立っており、今後も定期的に振り返りながら、会社の成長につなげていきたいです。